

## Ⅱ．症例報告

### (1)

早期診断治療により救命しえた進行胃癌 pulmonary tumor thrombotic microangiopathy が疑われた 1 例

北原 慎介

石田 友邦

川述 剛士

田中 健介

鈴木 未佳

河野 千代子

(2)

症例は 69 歳男性．胃癌治療中に呼吸困難で前医受診し，慢性閉塞性肺疾患増悪の診断で入院した．精査加療のため当院に転院したが増悪所見に乏しく，造影 CT も明らかな肺動脈血栓は認めなかった．心臓超音波検査で右心系拡大を認めたため右心カテーテル検査を施行し，平均肺動脈圧高値で，肺動脈吸引細胞診も ClassV であったことから臨床的に胃癌 pulmonary tumor thrombotic microangiopathy と診断した．抗癌剤と肺血管拡張薬にて呼吸状態は改善し，第 57 病日に退院となった．

(3)

キーワード：肺動脈腫瘍塞栓微小血管症(pulmonary tumor thrombotic microangiopathy), 胃癌(gastric cancer), 肺高血圧症(pulmonary hypertension), 肺動脈吸引細胞診(pulmonary wedge aspiration cytology)

救命しえた進行胃癌 PTTM が疑われた 1 例